

1st day
AM

第1会場●2F 第4研修室

■司 会／高瀬 薫 鹿児島県いちき串木野市教育委員会社会教育課 課長補佐
島田 浩一 熊本県生涯学習推進センター 社会教育主事

分科会の進め方

10:45~10:50

1 本のある子育て・読書に親しむ地域づくりのお手伝い

10:50~11:20

廣田 須美子(熊本県和水町) 和水お話の会 代表

本会はH22年の発足。公立の図書館も書店もない町の状況に鑑み、学校外の読書環境の充実と読書活動の推進を目標に掲げた。会員数15名支援ボランティア15名。2か所の公民館を拠点に、土曜よみよみ会、朗読と音楽のひと時、心を育てる「読み聞かせ講座」、絵本作家による講演会、子どもの読書フェスティバル、大人のための古典文学講座、専門学校生によるオペレッタなど新しい風と継続性を目指している。活動資金は「会費」と「子どもゆめ基金」の助成で賄い、読書活動の推進を通して、世代間の交流やブックスタートや子育て広場を主催する行政との協働も進んでいる。

2 市民の 市民による 市民のためのイベントづくり
～あなたの心に火を灯したい～

11:25~11:55

原田 祐一(鹿児島県鹿児島市) 「サンエールさわやかウェーブまつり」実行委員会 実行委員長

開催場所は市の生涯学習施設であるサンエール鹿児島である。まつりの実行委員は、関心ある市民を募集し、21名で構成。12月のイベントを目標に活動は7月から定期的に14回の会議を積み上げて行く。予算や運営企画は、鹿児島市の生涯学習課と連携の基に行なわれるが、目標テーマは、あくまでも市民による市民のためのイベントの創造である。イベントプログラムは、活動成果のステージ発表、展示、ワークショップなど多様な市民の関心と興味を拾い上げて多彩なものになった。市民参加の実行委員会方式は、熱意と意識を醸成し、自律的な活動を創り出し、活動の中身も活動者の輪も一気に拡大し、参加者数の増大に繋がり、市民相互の交流成果も実感された。

3 地域と学校が協働して存続させる無形文化財:子ども人形浄瑠璃

12:00~12:30

原田 浩(山口県周南市) 周南市安田の糸あやつり人形芝居保存会 会員

子どもは恐るべき力を潜在させている。周南市立三丘小学校の5年生は総合学習の時間に安田地区の伝統芸能「糸あやつり人形芝居」を学び、郷土への関心を高め、文化遺産を過去20年に亘って継承して来た。子どもたちは、「人形遣い」、「浄瑠璃語り」、「三味線」の3部門を学び、阿波・淡路まで研修に出かけ、福井子供会と競演し、淡路人形座の指導も受ける。練習成果は、定例的に学校行事、地域の文化行事で披露している。保存会の30代~80代の指導者13名が共同で指導に当たっているが学校の協力があるので途切れずに続いている。